

安心して 暮らせるまち はんだ

～生きがいや出番のある
毎日が過ごせるように～



介護予防・生活支援協議会では、
「住み慣れた地域で社会と
つながりを持ちながら
安心して暮らし続けることの
できるまちを地域のみなさんと
一緒に考え、つくっていくことを
目的としています。」

半田地区地域ささえあい活動計画

わたしたちは「介護予防・生活支援協議会（ちいさなおせわ会議）」で、身近な地域の中でお互いにささえあい、助け合うことで、安心して暮らし続けることのできるまちを目指して活動しています。

半田地区では 2016 年から生活支援コーディネーターを配置し、地域のみなさまとともに、地域資源を知り、地域の課題について検討し解決を図ってきました。みなさまの声をお聞きしながらちいさなおせわ会議で協議し、「**安心して暮らせるまちはんだ**」を地域ささえあい計画の目標としました。住みなれた地域で周りをつながり続けながら生活することが、安心して暮らし続けることにつながると考え、地域の課題解決に向けて検討・活動をすすめてきました。

これまでの経過をふまえ、半田地区が笑顔で安心して暮らせるまちとなるようみなさまとともに行動していきます。

こんなことが
できました！
(報告)

第2期のささえあい計画では、
3つのテーマを基にさまざまな活動がかたちになりました。



半中地域ささえあい活動
サロンのお手伝い

誰でも活躍できる場づくり



子どもたちを見守る活動

- ・地域のお助け隊と共に活動して技術を学びました。
- ・多世代の交流ができました。
- ・サロンが学びの場になりました。



まちあるき（地域の伝承）

- ・中学生が年間を通じて地域ささえあい活動に参加しています。
- ・自宅近くで小中学生の登校の見守りをしながら顔のつながる関係ができました。
- ・まちあるきを通じて地域の伝承ができました。



半中地域ささえあい活動
網戸はりのお手伝い

地域で続く
ささえあい活動のために

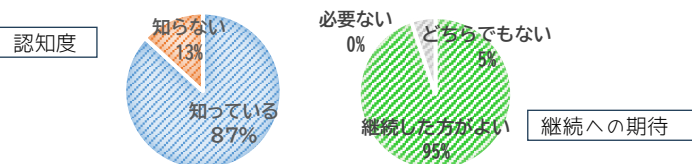


令和6年度半田地区内で、ささえあい活動に関するアンケートを行いました。733 名の方にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。このアンケート調査の結果から目指すまちの姿がみえてきました。

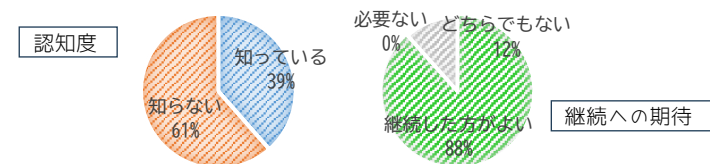


【誰でも活躍できる場づくり】地域の中で、登下校の見守りや、中学生の活躍する場があります。これからの活動について、継続を期待する声を多くいただきました。

〈子どもの見守り活動について〉



〈中学生の地域活動参加について〉

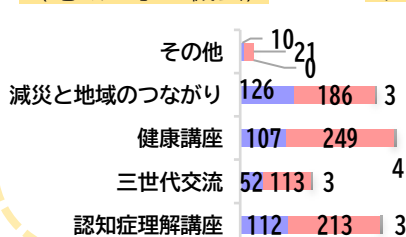


【地域で続くささえあい活動のために】

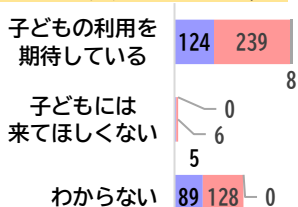
誰もが参加できる学ぶ機会の必要性を知りました。サロン参加者からは多世代利用を期待している声をいただきました。

■男性 ■女性 ■その他

〈地域で学ぶ機会〉

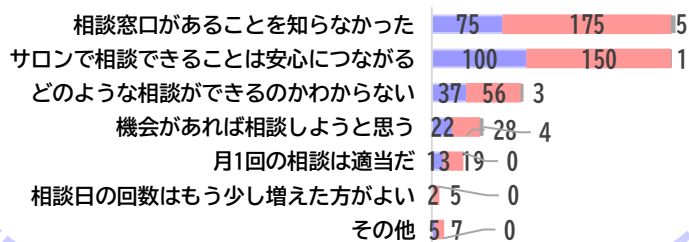


〈サロンの利用について〉



【ふくし事業所と地域がつながるしくみづくり】身近なサロンでふくしの相談ができることは安心につながると感じている。一方で、相談窓口があることの周知ができていないことがわかりました。

〈サロンの相談窓口について〉



ドローンで遊んで
多世代交流



「ふくし相談窓口」のある事業所の地図（QRコード）



看板のある事業所では誰でもふくしの相談ができます



ふくし相談窓口
岩滑ふれあいセンター



認知症理解講座

ふくし事業所と地域が
つながるしくみづくり

- ・サロンでふくし事業所の相談員による相談日ができました。
- ・「ふくし相談窓口」のある事業所が身近になりました。



ふくし相談窓口
かりやど憩の家

目指します！

安心して暮らせるまちはんだ

地域の みなさまの声

実現に向けた 活動（計画）

目指すまち

- ・子どもを見守ることでお互いの顔のわかる関係ができつつある。
- ・中学生と共に活動続けることは地域の活性化につながる。

誰でも活躍できる場づくり

- ・継続的な見守り活動の実施
- ・中学生の思いをくんだ地域活動の実現
- ・地域の気づきが、ささえあいや相談へつながるしくみの検討

多世代が共に活動することで地域の「おたがいさま」や「顔の見える関係」が増え、安心して暮らせるまちにつながる

- ・サロンの多世代参加は、地域サロンの継続につながる。
- ・身近なサロンに学びの場があることで、外出のきっかけとなり、サロンの広報にもつながっている。

地域で続く ささえあい活動のために

- ・地域参加のきっかけづくりとして情報発信の場を広げる
- ・地域の課題を楽しんで学びながら解決に向かう場づくりの検討

地域の活動を多く知ることによっていつでも参加できる機会が増え、生きがいや役割をもって暮らし続けるまちにつながる

- ・サロンで相談できることは安心につながる。
- ・「ふくし相談窓口」でどのような相談ができるかわからない。

ふくし事業所と地域が つながるしくみづくり

- ・身近なサロンやふくし事業所で「ふくし相談窓口」を開催していることを広く啓発
- ・「ふくし相談窓口」が関係機関につながっているしくみの見える化

ふくしの困りごとを気軽に話せる場が身近にあることで安心して暮らせるまちにつながる

〈くちいさなおせわ会議委員〉（2025年3月現在 敬称略 50音順）

青木俊憲（社会福祉法人椎の木福祉会）/ 石井義廣（住吉区）/
岡村隆司（半田地区民生委員児童委員協議会）/
小川征徹（半田地区老人クラブ連合会）/ 齋藤きみ子（かりやど憩の家）/
榊原肇（赤レンガ応援隊）/ 榊原真紀（NPO法人りんりん）/
杉木伸行（半田小学校区コミュニティ推進協議会）/
中井康友（半田中学校）/ 新美恵美子（岩滑地区民生委員児童委員協議会）/
新美秀敏（ニイミ理容）/ 丹羽康二（瑞穂区）/
山本美津穂（半田市健康づくり連絡協議会）/
半田市/半田市社会福祉協議会



事務局 半田市社会福祉協議会（ボランティア地域ささえあいセンター）

半田地区生活支援コーディネーター 川南真奈美

電話 0569-25-0002

半田市高齢介護課 介護保険担当

電話 0569-84-0649